

授業科目	運動器疾患・スポーツ傷害身体障害支援学特論				
担当者	境 隆弘・佐藤睦美				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	保健医療学研究科	学 年	1 年	総単位数	4 単位
		開講時期	後期	選択・必修	選択

■ 内 容

運動器障害の解明に有用な動作解析技術と結果の解釈を理解し、運動器疾患で生じる運動器へのストレス解明のための知識とするとともに、運動器の修復過程と有効なリハビリテーションについて学ぶ。また、スポーツ傷害についても学ぶことで、スポーツに起因する身体障害のみならず、障害者スポーツの在り方も考えうる知識を培う。

(境 隆弘)

運動器疾患やスポーツ傷害を惹起するメカニカルストレスを学ぶことで予防、治療の知識とするとともに、運動器疾患やスポーツ傷害の症候を明らかにする各種検査法とその結果の解釈、その症候の修復過程を科学的根拠あるリハビリテーション模索の基礎知識とする。

運動器疾患のリハビリテーションにおける評価、治療法を検討し、学生が提示する運動器疾患症例の評価と治療をモデルに検討会を開催し、科学的根拠あるリハビリテーションにつなげる運動学、運動力学、運動器疾患のメカニズムを理解する。

(佐藤睦美)

スポーツ傷害のリハビリテーションにおける評価、治療法を検討し、学生が提示するスポーツ傷害症例の評価と治療をモデルに検討会を開催し、科学的根拠あるリハビリテーションにつなげるスポーツ傷害のメカニズムを理解する。また、生活機能支援としての障害者スポーツのあり方について論じる。

■ 到達目標

- ・運動器疾患・スポーツ傷害のメカニズムを科学的根拠に基づいて説明できる。
- ・その際、X-p、CT、MRIなどの知識、情報を活用できる。

■ 授業計画

- 第1回 メカニカルストレスと運動器 (境隆弘)
- 第2回 運動器疾患、スポーツ傷害に関する画像読影法 (X-p、CT、MRI) (佐藤睦美)
- 第3回 運動器疾患、スポーツ傷害に関する理学的所見検査法 (境隆弘)
- 第4回 運動器の修復過程 (保存療法) (佐藤睦美)
- 第5回 運動器の修復過程 (観血的治療) (境隆弘)
- 第6回 関節運動学と運動力学の理解 (境隆弘)
- 第7回 運動器疾患のメカニズムの理解 (境隆弘)
- 第8回 運動器疾患のリハビリテーションにおける評価法；第1回～第7回講義を踏まえて (境隆弘)
- 第9回 運動器疾患のリハビリテーションにおける治療法；第1回～第7回講義を踏まえて (境隆弘)
- 第10回 症例提示と検討会 (境隆弘)
- 第11回 スポーツ動作の理解 (佐藤睦美)
- 第12回 スポーツ傷害のメカニズムの理解 (佐藤睦美)
- 第13回 スポーツ・リハビリテーションにおける方法論；第1回～第5回、第11回、12回講義を踏まえて (佐藤睦美)
- 第14回 障害者とスポーツ (佐藤睦美)
- 第15回 症例提示と検討会 (佐藤睦美)

■ 評価方法

(境 隆弘)

第10回検討会での科学的考察内容 100%

(佐藤陸美)

第15回検討会での科学的考察内容 100%

※ 2名の教員評価の平均を最終評価とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業テーマに沿った専門書や文献を、洋邦問わず、目を通すこと。

■ 教科書

■ 参考図書

書名：適宜紹介する。

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって